

平成 21 年度 普及に移す農業技術(第 2 回)

[分類] 普及技術

[成果名] トマトのオオタバコガ防除にフェニックス顆粒水和剤が有効である

[要約] トマトのオオタバコガ防除にフェニックス顆粒水和剤の 2,000 倍液を散布する。本剤は天敵に対する影響が少ない剤である。蚕に対して長期間毒性があるので、桑園付近では使用しない。

[担当] 野菜花き試験場環境部

[部会] 病虫部会

1 背景・ねらい

オオタバコガはトマトの果実を加害するため、生産物に直接的な品質低下をもたらすことで問題となっている。また、総合的病害虫管理(IPM)を实践するうえでは選択性の高い防除剤が必要である。試験は平成 14 年に実施し、平成 19 年 2 月に農薬登録された。本剤のオオタバコガに対する防除効果は他作物でも確認されて防除基準に採用されており、1 例ではあるが普及技術とした。

2 成果の内容・特徴

(1) トマトのオオタバコガ防除にフェニックス顆粒水和剤の 2,000 倍液を散布する。ミニトマトは含まない。

農薬登録内容

フェニックス顆粒水和剤

[一般名及び成分含量] フルベンジアミド 20.0%

[毒性] 人畜毒性：普通物 [魚毒性] B 類

[対象作物に対する適用登録状況(平成 22 年 1 月 28 日 JPP ネット確認)]

作物名	適用害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤及びフルベン ジアミドを含む農薬の総使用 回数	使用 方法
トマト	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2,000 倍	100 ~ 300 L/10a	収穫前日 まで	2 回以内	散布

3 利用上の留意点

- (1) 蚕に対して長期間毒性があるので、桑園付近では使用しない。
- (2) 水産動物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養魚池などに飛散、流入しないように注意する。
- (3) 主に摂食毒で行動阻害を起こす剤であるため殺虫効果は遅効的である。
- (4) マルハナバチに対してほとんど影響がない。

4 対象範囲

県下全域

5 具体的データ

フェニックス顆粒水和剤のトマトのオオタバコガに対する防除効果について、平成 14 年に野菜花き試験場で試験した。本剤 2,000 倍液のトマトのオオタバコガに対する効果は、対照薬剤と比較して同等の高い防除効果が認められた(表 1)。薬害は認められなかった。

表 1 トマトのオオタバコガに対するフェニックス顆粒水和剤の効果

(平成 14 年、野菜花き試験場)

供試薬剤	希釈倍数	5 株当たり個体数				薬害
		処理前	3 日後	7 日後	14 日後	
フェニックス顆粒水和剤	2,000	14.3	0.3 (2.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	なし
コテツフロアブル	2,000	11.0	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	なし
無 処 理	-	19.3	20.0	19.7	22.7	

()は補正密度指数

試験場所：長野市松代町 野花試験内圃場 発生状況：中発生 品種：「ラブリー40」（農薬登録のための効果判定を目的としたため、非適用作物での試験になった） 定植：5月17日

栽植密度：畦幅 80 cm、株間 50 cm 2 条植え 区制・面積：1 区 5 m² 5 株 / 区 3 連制

試験はミニトマトで実施した。

処理方法：背負い式動噴を用いて9月2日に規定濃度の薬液を 10 a 当たり 300L の割合で散布した。

調査方法：各区 5 株全体について、処理前(9月2日)、3 日後(9月5日)、7 日後(9月9日)および 14 日後(9月16日)にオオタバコガ幼虫の生息個体数を見取調査した。

補正密度指数 = (処理区の処理後密度 × 無処理区の処理前密度) / (処理区の処理前密度 × 無処理区の処理後密度) × 100

6 参考成績

表 2 トマトのオオタバコガに対するフェニックス顆粒水和剤の効果

(平成 15 年、奈良県植防)

供試薬剤	希釈倍数	5 株当たり個体数			被害果率(%)	薬害
		処理前	4 日後	7 日後		
フェニックス顆粒水和剤	2,000	7.0	0.0	0.0	0.0	なし
トルネードフロアブル	2,000	6.0	0.0	0.0	2.0	なし
無 処 理	-	12.5	9.0	6.5	11.0	

試験場所：奈良県農業技術センター内施設 品種：「ホーム桃太郎」

定植：5月6日 栽植密度：畦幅 150 cm、株間 40 cm 区制・面積：1 区 3 m² 5 株 / 区 2 連制

処理方法：7月11日に規定濃度の薬液を 10 a 当たり 300L の割合で散布した。

調査方法：処理前(7月11日)、4 日後(7月15日)および 7 日後(7月18日)に各区 5 株について生息するオオタバコガ幼虫個体数を調査した。また、7 日後には被害果率を調査した。

7 特記事項

[公 開] 制限なし。

[課題名、研究期間、予算区分]

野菜・花きの病害虫防除農薬の効果試験、平成 14 年度 (2002 年度)、民間受託